

地域が守る

安心して暮らせる安全なまち



田原市では、市内すべての地区に自主防災会が組織され、それぞれの地域特性に合った防災活動に取り組んでいます。ここでは、平成26年度の「自主防災活動重点支援地区」として、田原東部校区と赤羽根校区が取り組んだ活動をご紹介します。

▼防災対策課 ☎23局3548

自主防災会活動【事例紹介1】

田原東部校区

谷熊
やぐま台

【人口・世帯】：H27年3月末現在
1416人・461世帯（両地区計）

【概要】

市の東部、豊橋市杉山町との市境に位置し、北側は田原湾に面しています。そして、その田原湾に面した谷熊地区は、津波による浸水が予想される地区となっています。

【取り組みテーマ】

家庭から防災対策を充実しよう！
〜できるところから一歩ずつ〜

【主な取り組み内容】

- 1 自主防災活動アンケートの実施
- 2 基本の再確認！一啓発チラシの配布
- 3 家具固定講習会 など

【取り組み成果】

自分たちの街の防災力をあらためて見つめ直し、多くの課題を発見し、対策に励みました。

また、自主防災会一斉訓練には将来の担い手である子どもや若者にも多く参加してもらい、地域全体で取り組むことができました。

【今後の目標】

さらに地域防災力の底上げをしていきたいです。また、近い将来、街の中を実際に使って消火訓練や救助訓練、搬送訓練を実践する「発災型対応訓練」が実施できるように、体制づくり、土台づくりをします。



●自主防災会防災訓練（谷熊）

自主防災会活動【事例紹介2】

赤羽根校区

【人口・世帯】：H27年3月末現在
2437人・785世帯

【概要】

市の中央南部、太平洋に面した農業地帯です。全国から多くのサーファ―が集まります。海岸の崖は高く、集落への津波の心配は少ないものの、一部の住宅や農地に低い場所もあり、対策が急がれます。

【取り組みテーマ】

命を守る防災

【主な取り組み内容】

- 1 防災マップの更新
- 2 防災世帯台帳の更新
- 3 親子ふれあい活動における津波避難訓練 など

【取り組み成果】

子どもたちも含めた地域全体で取り組むことができ、特に「自分の命は自分で守る」という子どもたちの防災訓練は、親の防災意識の

向上にも効果があると感じています。

【今後の目標】

「防災意識のさらなる向上」とともに、「地域の絆を深めること」があげられます。

【例】十丁（回覧板の単位組織）の組織強化

これを強化することで、災害など困難な状態に直面したとき、「ご近所の底力」でスムーズに対応できると考えます。また、平常時における、高齢者対策などにも有効だと考えます。



●防災マップの更新作業



●津波避難訓練